

# MAXHUB

V6 CFシリーズ



オールインワンミーティングボード  
ユーザーマニュアル

## 目次

使用上の注意.....	1
〈オプション〉壁掛けについて.....	3
壁掛け設置例.....	4
各部の機能.....	7
インターフェース.....	8
本機電源操作.....	9
電源オン.....	9
電源オフ.....	9
周辺機器接続方法.....	9
① パソコンと接続する（双方向操作、本機のカメラ&マイク&スピーカーを使用する方法）.....	9
② LAN 接続.....	10
③ 本機から外部機器へ音声出力 or 映像出力する場合.....	10
④ 外部機器から本機へ映像入力する場合.....	10
⑤ USB デバイス接続.....	11
⑥ RS232 接続.....	11
ワイヤレス画面共有.....	12
ワイヤレスドングルを使用する場合.....	12
専用アプリケーションを使用する場合.....	16
「近くのデバイス」を使う場合（Windows & macOS のみ）.....	18
ホーム画面.....	19
ホワイトボード機能.....	22
プレゼンテーション.....	32
サイドバー.....	33
その他の機能.....	40
1. ミニ黒板機能.....	40
2. ウェルカムボード機能.....	40
設定について.....	41
ネットワーク.....	41
一般設定.....	41
システム.....	42
FAQ.....	47
重量とサイズ.....	47
トラブルシューティング.....	47

## 使用上の注意

- 本機の操作の前にこのマニュアルを必ずお読みになり、正しくお使いください
- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なる場合があります。

## 設置・使用に関する注意

- 本機の上に重量物を載せないでください。
- 磁気を発生する機器の近くには設置しないでください。
- 本機を不安定なスタンド、壁掛け金具等に設置しないでください。
- 本機の近くや上に液体を置いたり、液体をこぼしたりしないようにしてください。
- 本機の起動時は、本機の画面に触らないでください。画面に触れると、正しく動作しない場合があります。その場合は、本機を再起動させてください。
- 本機に接続しているコンピューターに他の USB 機器が接続されている場合、タッチパネル入力中に USB 機器を動作させないでください。正しく入力できない場合があります。

### ■ お手入れのしかた

誤ったお手入れをした場合、本機を傷つける場合や故障の原因にもなりますので、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、次のことを必ずお守りください。

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布で軽くふいてください。ベンジン、シンナーなどは使わないでください。変質する場合や、塗料がはげることがあります。

殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質する場合や、塗料がはがれる原因となります。ハンドクリーム、日焼け止めクリームなどが手に付いた状態で本機に触らないでください。変色、変形の原因になります。

軽い汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布でそっとふき取ってください。

市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどは、販売元に確認してから使用してください。

- ツメ、鉛筆などの硬いものや鋭利なもので操作しないでください。
- 電磁波妨害に注意してください。  
本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

## 使用環境に関する注意

- 周囲温度が 5℃～35℃の範囲内でご使用ください。  
別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。
- 周囲湿度が 10～90%RH の範囲内でご使用ください。湿度が範囲以上になると結露が発生する場合があります。
- 本機の熱を逃がしやすくするため、本機の背面・左右は 10cm 以上、上下は 20cm 以上の空間を空けてください。
- 本機に使用している LED バックライトには、寿命があります。画面が暗くなる場合や、点灯しないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 低温になる部屋（場所）でご使用の場合

- 低温になる場所には放置しないでください。機器の変形や故障の原因となります。

## 直射日光・熱気は避けてください

- 高温になる場所に放置すると、機器が変形する場合や、故障の原因となることがあります。
- 液晶や周辺部品に悪影響を与えますので直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。
- 急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください。  
急激な温度差がある部屋（場所）で使用すると、画面の表示品質が低下する場合があります。

## 長時間ご使用にならないとき

- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 海外では使用できません

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。

## 結露について

- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露がなくなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください）。

## ユーザーマニュアルについて

- 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Excel、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- DisplayPort および DisplayPort ロゴ、DisplayPort Certified Logo は、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標または登録商標です。
- MAXHUB は、中国 Guangzhou Shizhen Information Technology Co., Ltd. の中国およびその他の国における登録商標または商標です。
- そのほか、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

## 免責

誤った使い方でのご使用は保証範囲外になりますので、ご注意ください。

以下のような場合は免責事項として、保証範囲外となりますのでご注意ください。

- ・本ユーザーマニュアルに記載する内容以外のご使用で故障および不具合が起きた場合
- ・お客様ご自身での修理や解体をした場合
- ・仕様書に準じていない環境でのご使用により故障および不具合が起きた場合
- ・自然災害(火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変)により故障および不具合が起きた場合
- ・定格外の電源(異常電圧、異常周波数)での使用により故障および不具合が起きた場合
- ・接地（アース線）未接続が原因による故障および不具合が起きた場合
- ・サードパーティ製の製品やシステムの使用により不具合が起きた場合

- ・搭載している Windows OS に起因する不具合が起きた場合
- ・Active Directory に参加したことにより不具合が起きた場合
- ・当社販売以外のセキュリティソフト使用により不具合が起きた場合
- ・お客様ご自身でご用意された機器との相性により動作不具合が起きた場合
- ・接続端子が繰り返しの利用により摩耗し不具合が起きた場合

また、上記の原因で発生した物損、人身傷害も責任を負いかねますのでご了承ください。

## 同梱物一覧

- 本機 ..... 1 台
- ワイヤレスドングル ..... 1 個
- 電源ケーブル ..... 1 本
- デュアルタッチペン ..... 2 本
- USB Type-C to C ケーブル ..... 1 本
- 保証書 ..... 1 部
- 安全にお使いいただくために ..... 1 部
- 固定ネジ ..... 2 本

## <オプション>壁掛けについて

### 安全上のご注意

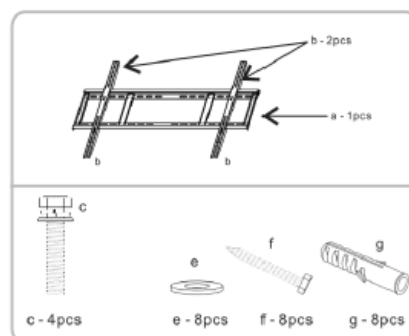
- ・設置作業は必ず相応の資格がある方が取り付けてください
- ・清潔で修理しやすい、風通しの良い場所に設置してください
- ・地面に対して垂直に設置してください。長辺は地面と平行に設置してください
- ・周辺は十分なスペースを空けてください
- ・可燃ガス、腐食環境に設置しないでください
- ・強い電磁波の近くに設置しないでください
- ・騒音、振動が強い場所に設置しないでください
- ・煙、風、湿気、直射日光、高温の場所に設置しないでください
- ・その他本設備に危険を与える場所に設置しないでください

### 設置に関するご注意

- ・本製品を壁掛けされる場合、オプション部品（別売）が必要となります。
- ・壁掛けフレーム（オプション品）を使用すること
- ・ネジ（オプション品）など専用部品を使用すること
- ・設置場所は水、電気、ガスの配管付近を避けること
- ・垂直の壁に設置すること
- ・十分強度のある壁に設置すること
- ・天井吊りなど特殊な設置方法の場合、強度、消防、熱、湿気、メンテナンスなど十分考慮して設置すること

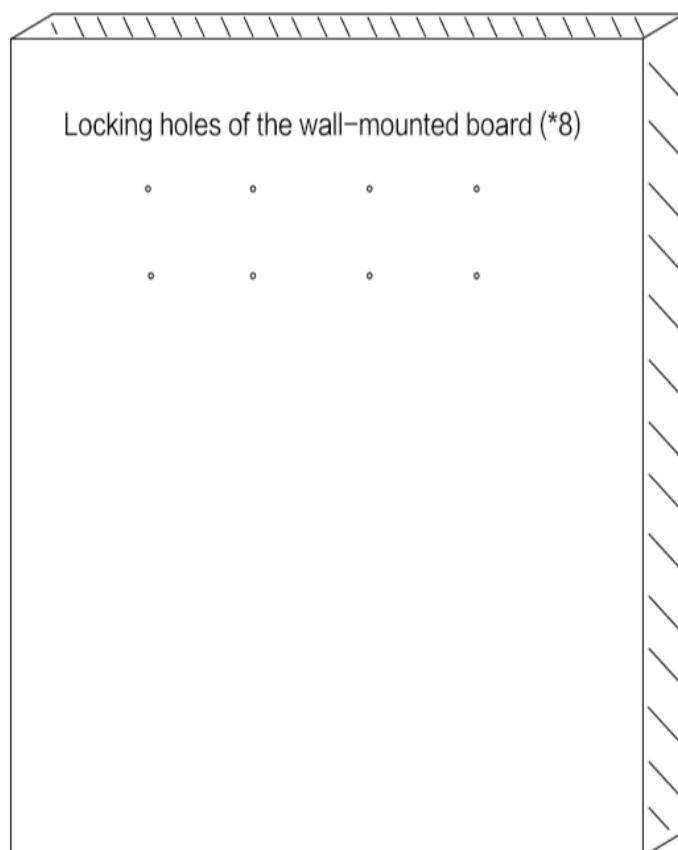
部品一覧 (Code b、c 部品は本機に取付済み、その他はオプション別売。)

名称	Code	数量
壁掛けフレーム	a	1
掛け治具	b	2
8*25 ネジ	c	4
7mm ワッシャー	e	8
6.3*63 ネジ	f	8
12mm plastic expansion アンカー	g	8

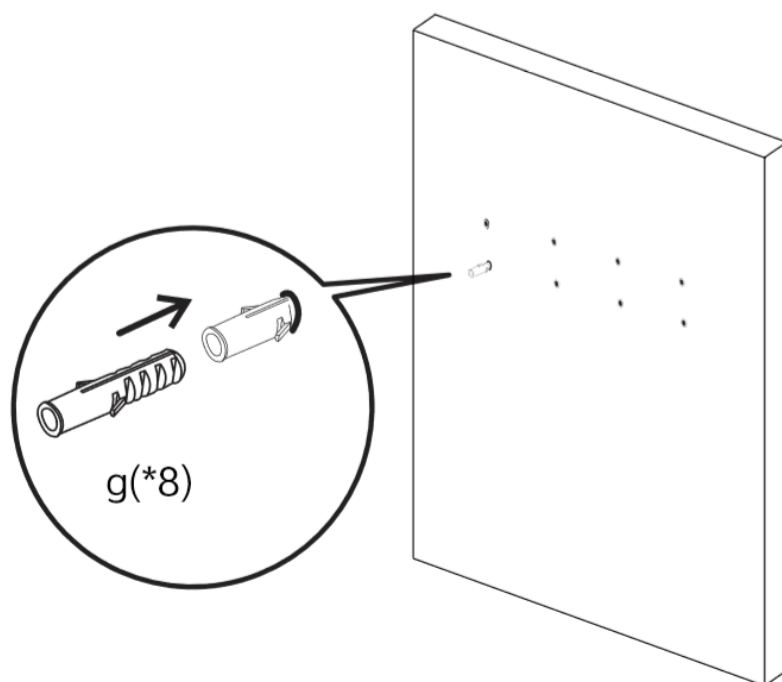


## 壁掛け設置例

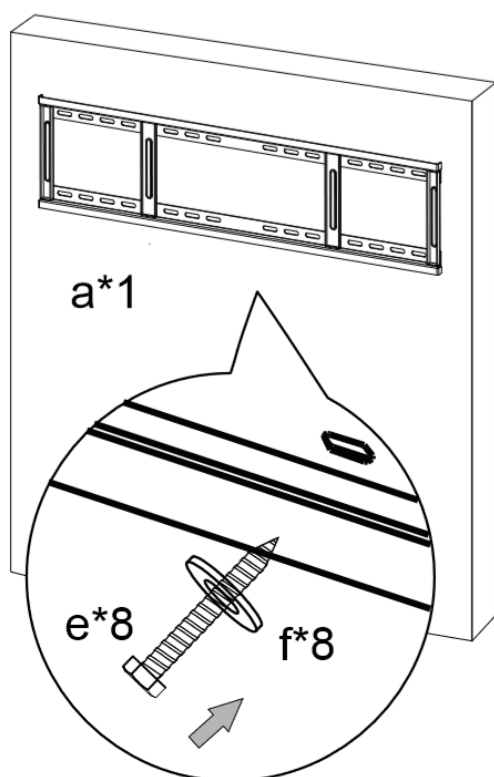
- ・ 設置場所、高さ、ネジ穴を決める
- ・ 12mm ドリルで壁に穴を空ける (穴の深さは12mm plastic expansion アンカー【g】より長くする)



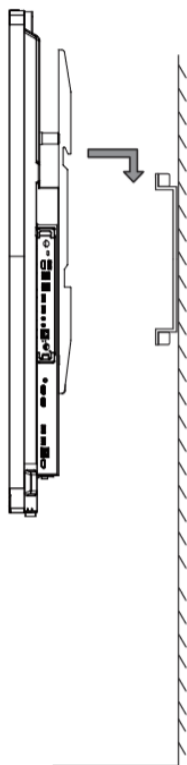
- ・ ハンマーで12mm plastic expansion アンカー【g】を完全に穴の中に入れる



- 12mm plastic expansion アンカー【g】がしっかりはまっていることを確認する
- 下図の通りに、壁掛けフレーム【a】を 6.3\*63 ネジ【f】、7mm ワッシャー【e】で 12mm plastic expansion アンカー【g】にしっかり固定する



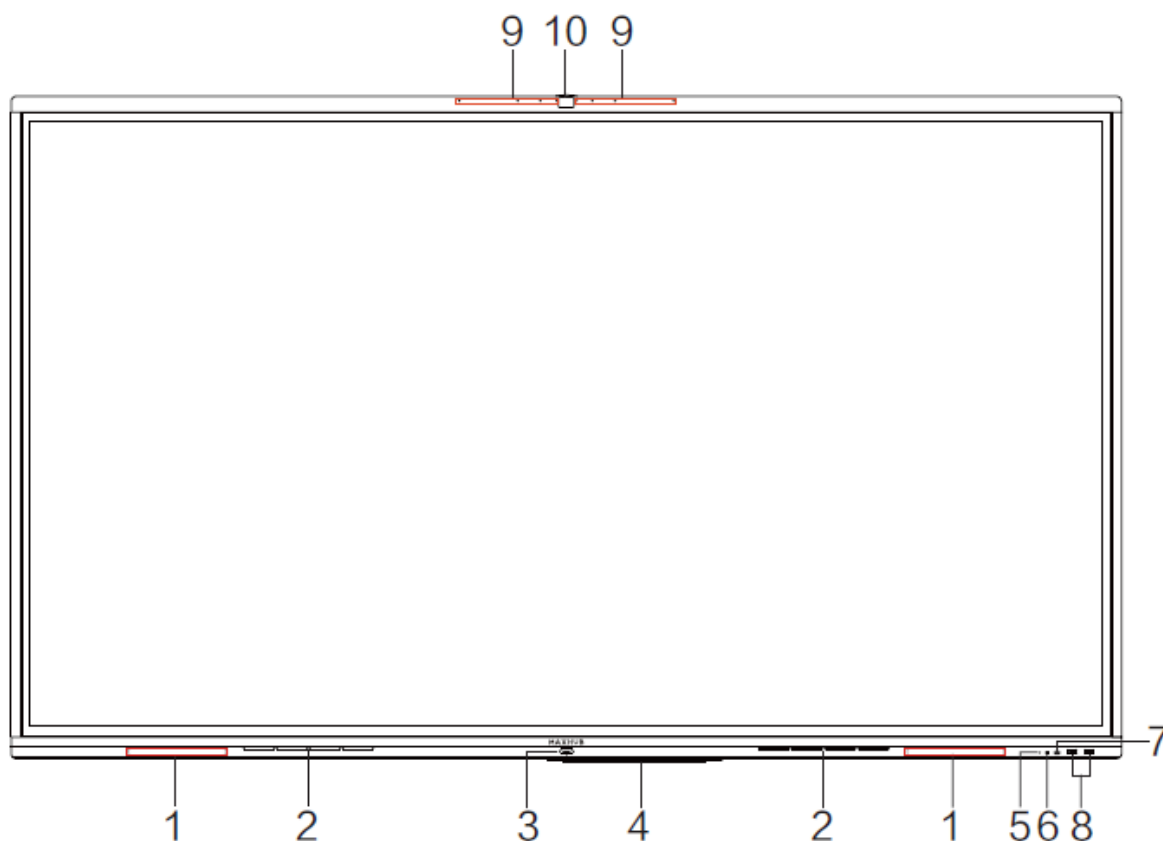
- 本体（掛け治具【b】取付済み）を壁掛けフレーム【a】に掛ける



- ・本体が壁掛けフレーム【a】の中心に来るように調整する
- ・別袋に梱包の固定用ネジで本体を壁掛けフレーム【a】にしっかり固定する



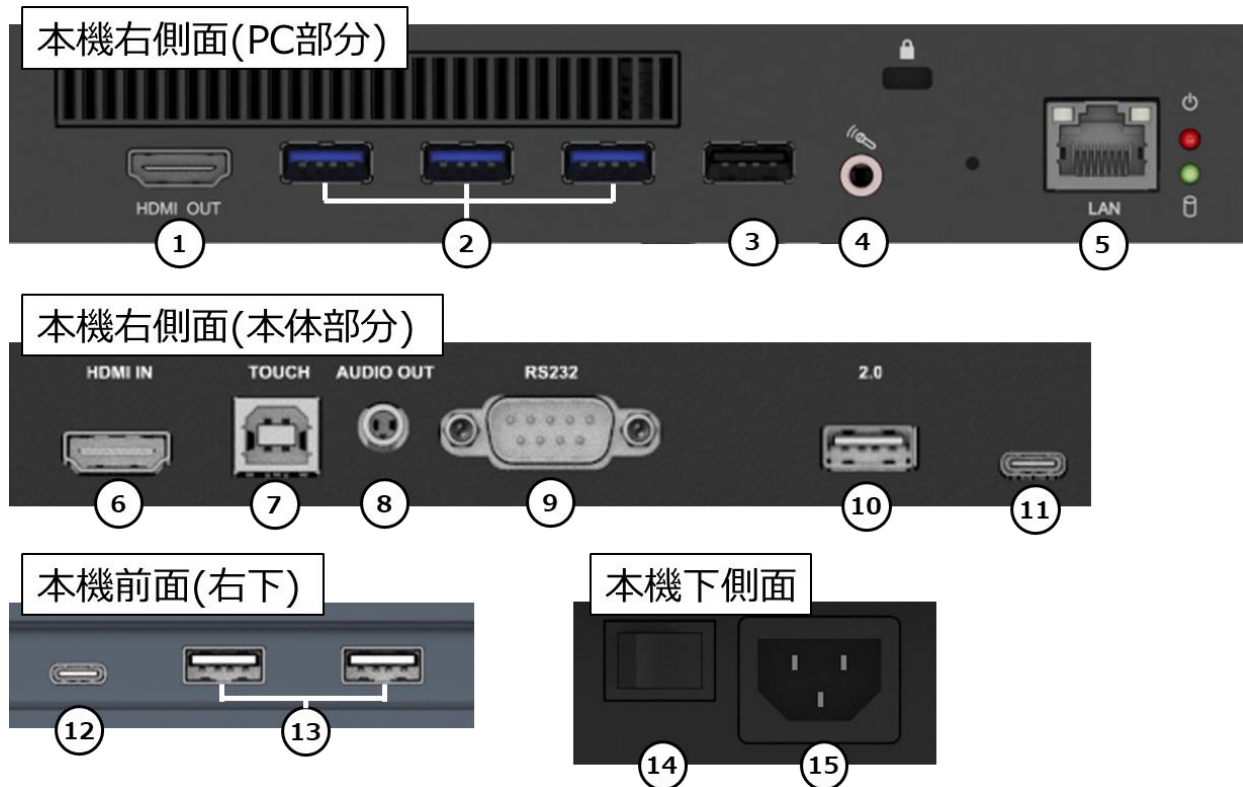
## 各部の機能



	名称	機能
1	ペン用磁石エリア	ペンを磁石に貼り付けることができます
2	スピーカー	音声出力機能
3	本機電源	1回押すとスリープ状態(※1)にでき、2秒以上押すとシャットダウンできます
4	Wi-Fi モジュール	Wi-Fi アダプター・ホットスポット機能
5	ライトセンサー	周知の明るさを検知します
6	リモコン信号受光部	リモコンの信号を受信します。
7	USB Type-C ポート	映像の入力、接続機器の充電等に利用できます
8	USB Type-A ポート	USB メモリやキーボードの接続等に利用できます
9	アレイマイク	音声入力機能
10	カメラ	カメラ機能

※1 スリープ状態…画面を消した状態で、本機を待機状態にします。起動時間が短くなります。

## インターフェース



番号	インターフェース	機能
1	HDMI OUT	HDMI 出力端子
2	USB Type-A (3.0) ×3	USB メモリやキーボード等の接続に利用できます
3	USB Type-A (2.0)	同上
4	MIC IN	MIC 入力端子 (OMTP 規格)
5	LAN ポート	有線 LAN 接続端子
6	HDMI IN	HDMI 入力端子
7	USB Type-B (2.0)	HDMI IN と併用し、外部端末のタッチ操作ができます
8	AUDIO OUT (3.5mm)	音声出力端子
9	RS232	RS232 制御用端子
10	USB Type-A (2.0)	USB メモリやキーボード等の接続に利用できます
11	USB Type-C	映像の入力、接続機器の充電等に利用できます
12	USB Type-C	同上
13	USB Type-A (3.0) ×2	USB メモリやキーボード等の接続に利用できます
14	AC スイッチ (主電源)	“-” はオン、“○” はオフ
15	AC IN	AC 電源接続端子 (

## 本機電源操作

### 電源オン

- ① 電源コードのメスコネクタを本機に挿す
- ② 電源コードの差し込みプラグをコンセントに挿す(この時必ずアースに接続してください)
- ③ AC スイッチを ON にする (本機電源の LED が赤に点灯します)
- ④ 本機電源を 1 回押す (本機電源の LED が白に点灯します)

### 電源オフ

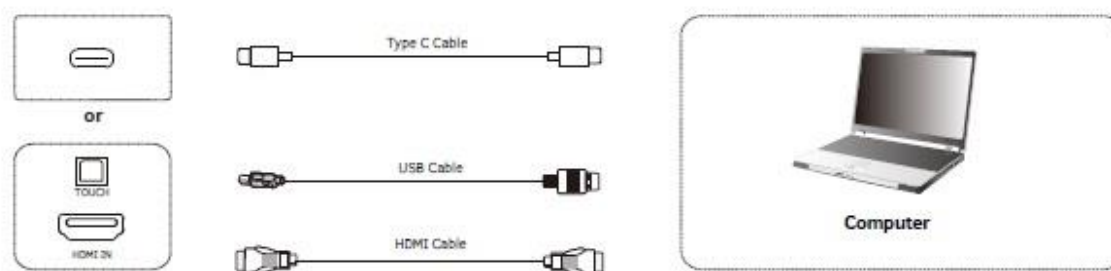
本機電源を長押しして、「システムをシャットダウンしますか？」のメッセージが出たら、「OK」を押す。

※電源が ON の状態で AC スイッチを切ると故障の原因となる可能性があるのでご注意ください。

## 周辺機器接続方法

- 安全のため、接続する前にすべての電源コードを抜いてください。

### ① パソコンと接続する (双方向操作、本機のカメラ&マイク&スピーカーを使用する方法)



- 1) Type C 端子を使用する場合:” Type-C 端子の映像出力に対応したパソコン” と本機を” USB Type-CtoC ケーブル (Alternate mode 対応)” で接続する  
HDMI ケーブル+USB ケーブルを使用する場合:パソコンと本機を HDMI ケーブルと USB Type-AtoB ケーブルで接続する
- 2) 本機電源コードを接続して、AC スイッチをオンにする
- 3) パソコンを起動する
- 4) 本機を起動する
- 5) 本機画面にパソコン画面が投影され、操作可能な状態になります



NOTE:

推奨解像度 3840\*2160.

パソコン推奨スペック:

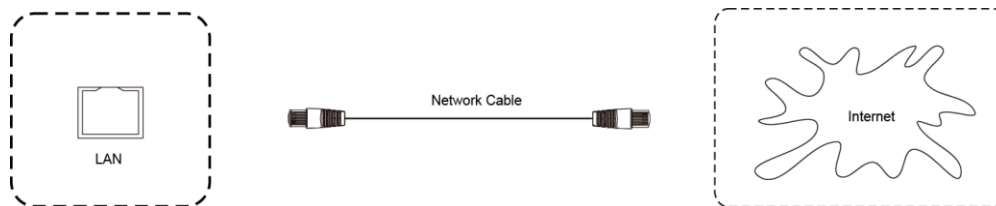
HDD: 1GB 以上の空き容量

CPU: 2.0GHz 以上    メモリ: 1GB 以上

インターフェース: HDMI OUT, Audio-OUT, USB,

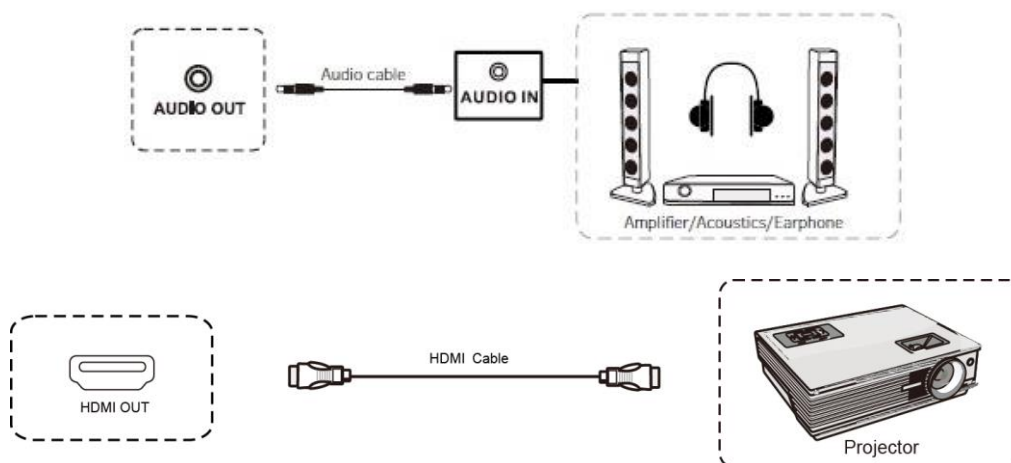
解像度サポート: 800\*600, 1024\*768, 1920\*1080, 3840\*2160 etc

## ② LAN 接続



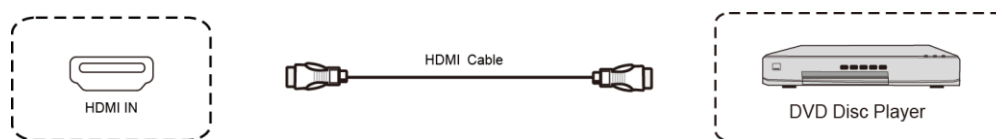
LAN ケーブルを使用してルーターと本機を接続できます。

## ③ 本機から外部機器へ音声出力 or 映像出力する場合



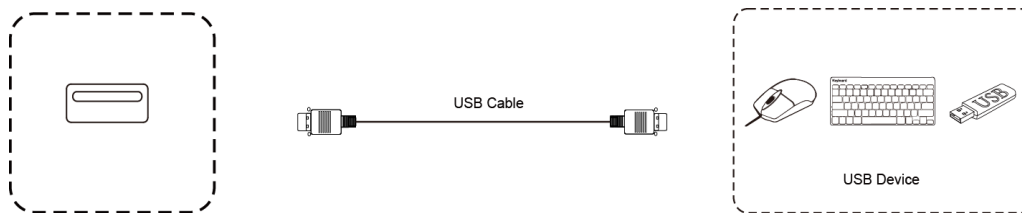
- 1) 映像出力をする場合：本機の HDMI OUT 端子に HDMI ケーブルを接続し外部機器と接続する  
音声出力をする場合：本機の AUDIO OUT 端子に 3.5mm オーディオケーブルを接続し外部機器と接続する
- 2) 本機電源コードを接続して、AC スイッチをオンにする
- 3) 外部機器を起動する
- 4) 本機を起動する
- 5) 外部機器へ出力されます

## ④ 外部機器から本機へ映像入力する場合



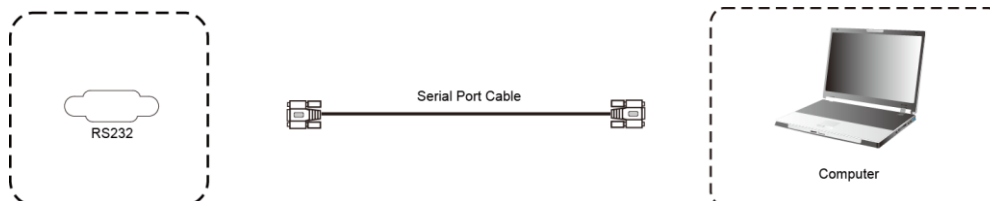
- 1) 本機の HDMI IN 端子に HDMI ケーブルを接続し外部機器と接続する
- 2) 本機電源コードを接続して、AC スイッチをオンにする
- 3) 外部機器を起動する
- 4) 本機を起動する
- 5) ホーム画面の入力ソースから” HDMI ” を選択する。

## ⑤ USB デバイス接続



USB ケーブルを使用して本機と USB 対応機器を接続できます。

## ⑥ RS232 接続



シリアルケーブルを使用して本機のコントロールができます。

例) 電源オン/オフ、音量調整など

## ワイヤレス画面共有

ワイヤレスドングルまたは専用アプリケーションを使用して、パソコン・タブレット・スマートフォンの画面を表示することができます。本機上での操作は、画面共有された端末(パソコンのみ)へ反映されます。最大4画面を同時表示できます。

ワイヤレスドングルをUSB Type-A 端子でパソコンに接続する場合、**初回のみ**ドングル投影用のソフトウェアのインストールが必要です。(ソフトウェアはドングルからインストールされます。)

ワイヤレスドングルをUSB Type-C 端子でパソコンに接続する場合、パソコンがUSB Type-C での画面出力に対応しているときソフトウェアのインストールは不要です。

## ワイヤレスドングルを使用する場合

### ワイヤレスドングルと本機をペアリングする

- ① 本機が起動している状態でワイヤレスドングルを本機のUSB Type-C 端子に接続します。
- ② 「ペアリングに成功しました」という表示が出たことを確認し、取り外します。



## ワイヤレスドングルの設定 (Windows)

① ワイヤレスドングルを USB Type-C 端子、または USB アダプターを付けてパソコンの USB Type-A 端子に接続します。

② USB Type-A で接続した場合

初回起動時：PC(マイコンピュータ)を開き、「CD ドライブ MAXHUB」を右クリックし「開く」を選択します。

その後「MAXHUB.exe」をダブルクリックするとソフトウェアが起動します。初回起動時のみインストールの案内が表示されますのでインストールしてください。以降はドングルを PC に接続すると自動でソフトウェアが起動します。

ソフトウェアが起動した後は下図のように「画面共有できます」と表示され、ワイヤレスドングルのランプが点滅から点灯に変わります。ワイヤレスドングルのボタンを押すと画面共有が開始されます。



③ USBType-C で接続した場合

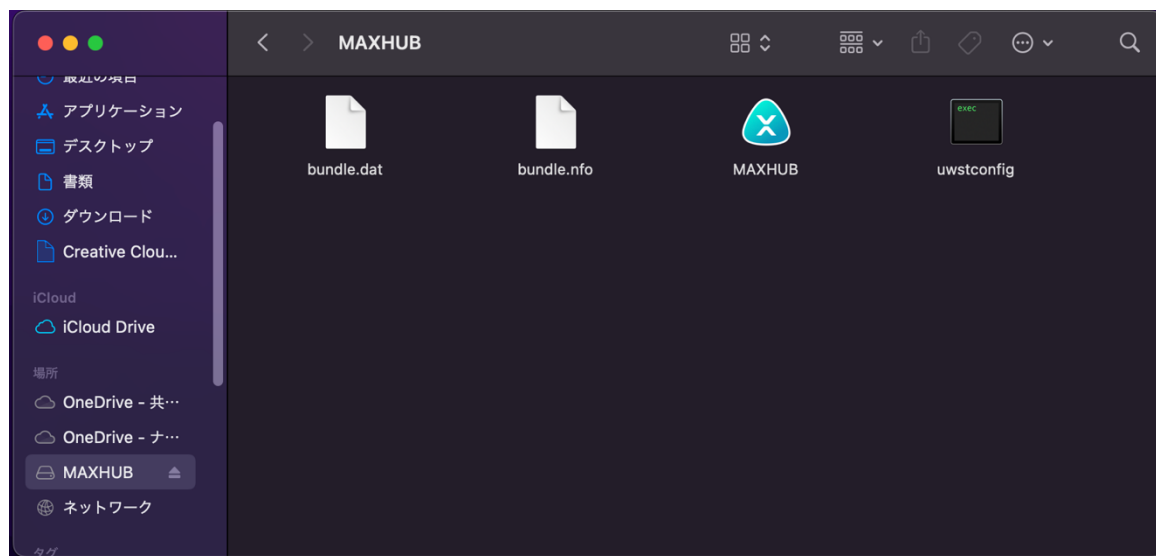
10 秒～15 秒待つとドングルのランプが点滅から点灯に変わります。ワイヤレスドングルのボタンを押すと画面共有が開始されます。

## ワイヤレスドングルの設定 (mac)

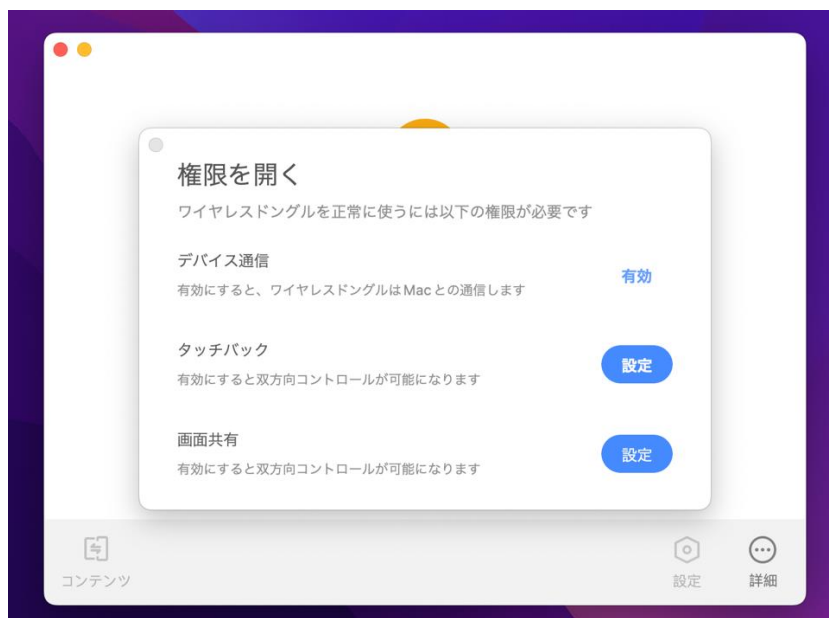
- 1 ワイヤレスドングルを USB 端子に接続します。
- 2 デスクトップに MAXHUB ドライブが表示されるので、開きます。



- 3 MAXHUB.app を実行します。

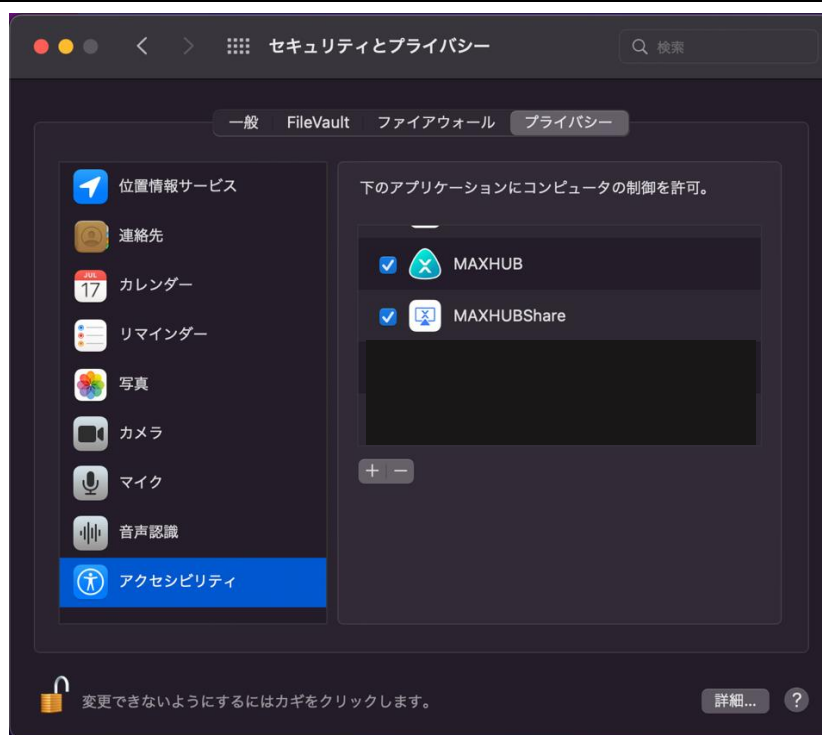


- 4 10 秒~15 秒待つと下図のように権限を求められるので「設定」を押してください。



- 5 「セキュリティとプライバシー」→「アクセシビリティ」の画面が出てきたら、鍵マークをクリックして使用する mac のパスワードを入力してください。
- 6 鍵が解除されたら「MAXHUB」にチェックを入れて再度、鍵ボタンを押してください。





- 7 鍵が解除されたら「MAXHUB」にチェックを入れて再度、鍵ボタンを押してください。
- 8 下図が表示され、ドングルをクリックすると画面共有を開始できます。



#### ワイヤレスドングルの操作 (Windows・mac 共通)

- ・ボタンを1回押す…画面を表示します。再度押すと表示を解除します。
- ・ボタンを長押し…2~4台の画面を分割表示します。最大画面同時表示できます。

#### 拡張ディスプレイを投影する方法

##### Windows&mac OS

- ① ワイヤレスドングルを手元PCのUSB端子に挿します。
- ② 「共有画面できます」と表示されたらワイヤレスドングルのボタンを押してください。

- ③ 手元PC画面上部にカーソルを移動すると下図のようなドングルツールバーが表示されます。
- ④ ドングルツールバーの「コンテンツ」→「拡張画面」→「デスクトップ拡張画面」をクリックして有効にしてください。拡張ディスプレイが投影されます。※タッチモードが自動的に無効になります。
- ⑤ 拡張画面を複製画面にする場合はドングルツールバーの「コンテンツ」→「デスクトップ」をクリックして有効にしてください。

#### PC画面上部に表示される「ドングルツールバー」



#### 専用アプリケーションを使用する場合

- ・ホーム画面を右側にスワイプすると下記のように手順が表示されます、従って画面共有を行ってください。



スマホ：

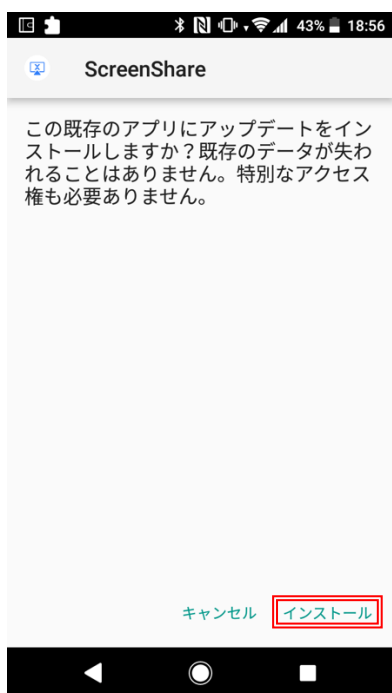
- ① QRコードをスキャンしてアプリをダウンロード「MAXHUBShare」
- ② 画面に従って操作してください。

※Android 端末につきましては、下記の通り許可設定を行う必要があります。

1. ダウンロード後、インストールを実行すると、「不明なアプリをインストールすることはできません」と表示されるため、「設定」を押す。



2. インストールを押す。

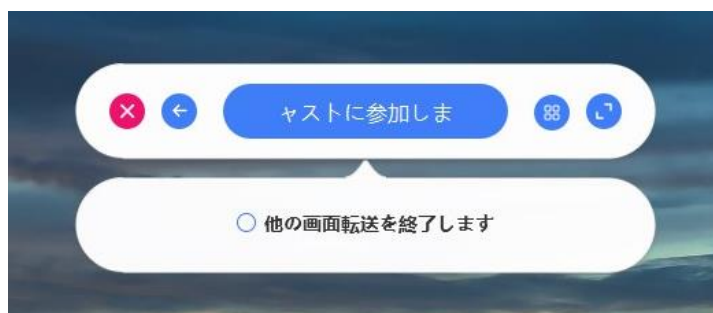


パソコン：

- ① 「MAXHUB Share」を下記サイトからダウンロード、インストールを行います  
<https://www.maxhub.vip/share/>
- ② パソコンを MAXHUB のホットスポットに接続するか、MAXHUB と同一ネットワークに接続します
- ③ 「MAXHUB Share」を起動し、本機に表示されている 6 桁の接続コードを入力します

### 「近くのデバイス」を使う場合 (Windows & macOS のみ)

- ① 上記、専用アプリケーションをインストール後
- ② アプリケーション起動すると下図、画面下の「デバイスの近く」をクリックしてください。
- ③ お近くの MAXHUB が自動検索され表示されますので、画面に従って画面共有を行ってください。



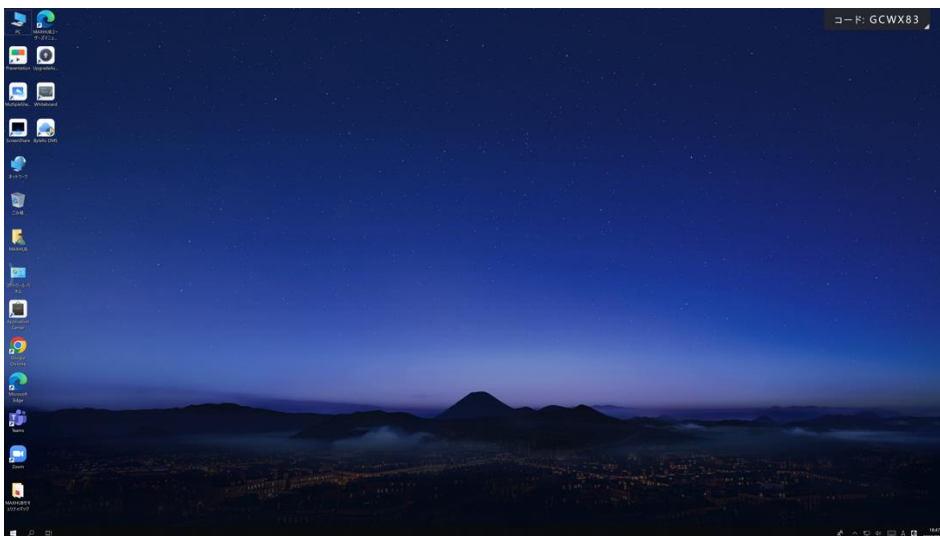
## ホーム画面



## ①サイドバーを表示



## ②Windows モード・・・Windows のデスクトップを表示できます。



- ③すべてのアプリケーションを表示
- ④Windows デスクトップに配置されているアイコンを表示できます
- ⑤HDMI や Type-C 等へ入力切り替え
- ⑥背景を長押し・・・ ホーム画面のテンプレートの変更

Windows デスクトップのショートカットやアプリを含む、任意のアプリをカスタマイズできます。



#### ・クラシックモード

時刻とアプリのシンプルなデザイン



## •コラボレーション

クラシックからカレンダー機能とミーティング URL 送信機能が追加されます



## •カレンダー機能

Outlook や Google カレンダーと連携可能。

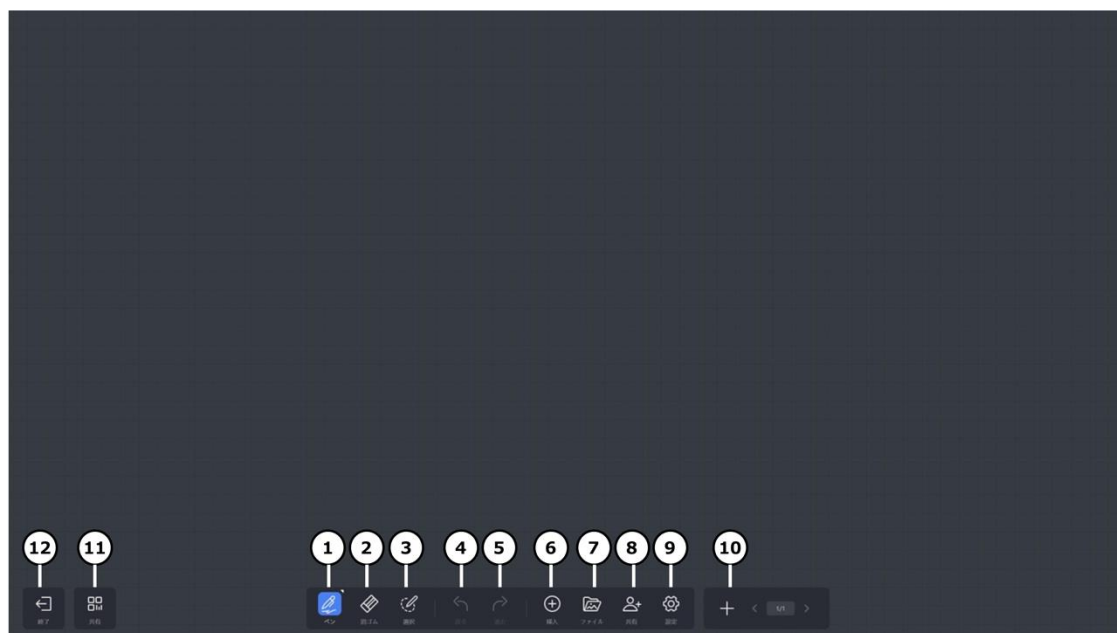
スケジュールに Web 会議情報を設定すると、タッチして会議に参加できます。



## •ミーティング URL 送信機能

スマートフォンやタブレットなどの端末で QR コードを読み取り、ミーティング URL を入力すると MAXHUB で会議に参加することができます。

## ホワイトボード機能

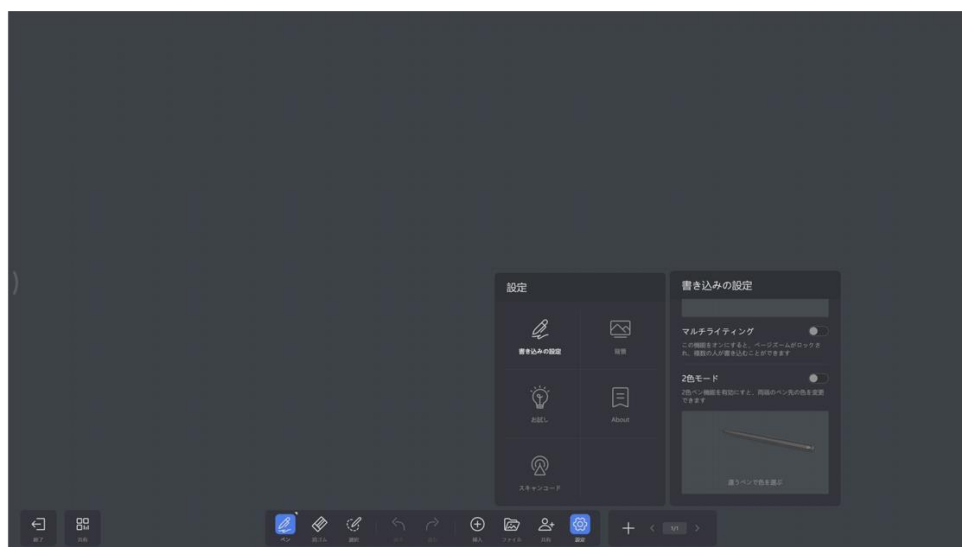


## ① ペンモード

ペンの種類、太さ、色等が選択できます。

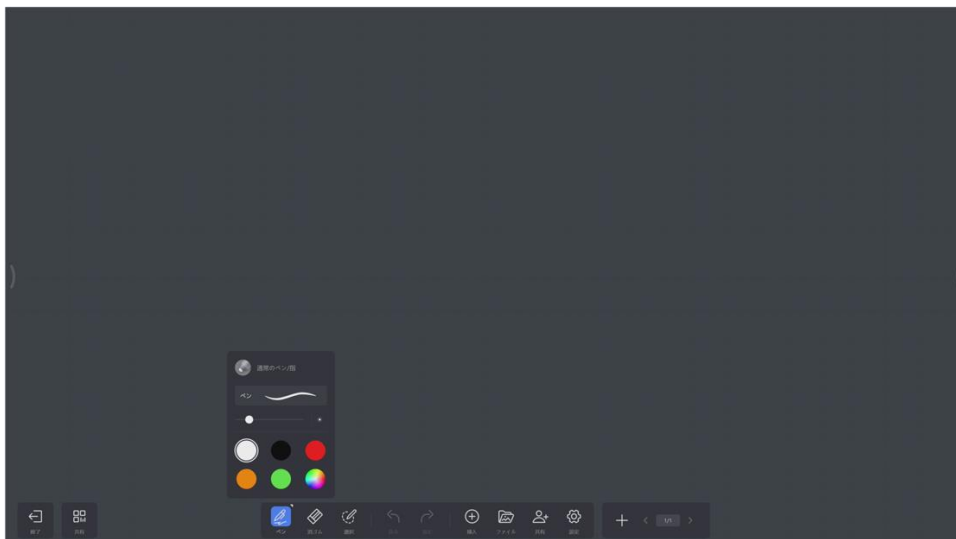
## 【2色ペンの使い方】

1.設定→ペンの設定→2色モードをONにします





2.太い/細いペン先でそれぞれの色、太さを選択します

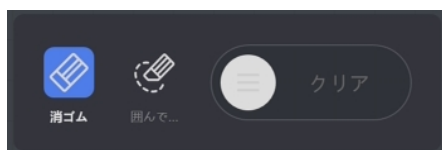


2.選択した色、太さで書き込みできます

※細いペンなら同時に7人書き込みできます

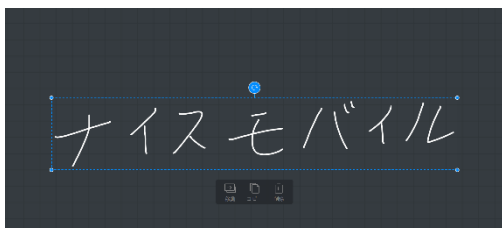
## ② 消しゴムモード

消しゴムの大きさを選択して部分消去、またはクリアで全消去ができます。



## ③ 選択モード

選択部分の移動、縮小拡大、コピー、削除をすることができます。



## ④ 「戻る」ボタン

直前の操作に戻ります。

## ⑤ 「進む」ボタン

直後の操作に戻ります。

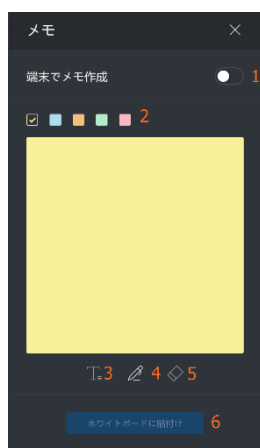
## ⑥ 挿入モード

表やマインドマップ、メモを挿入することができます。

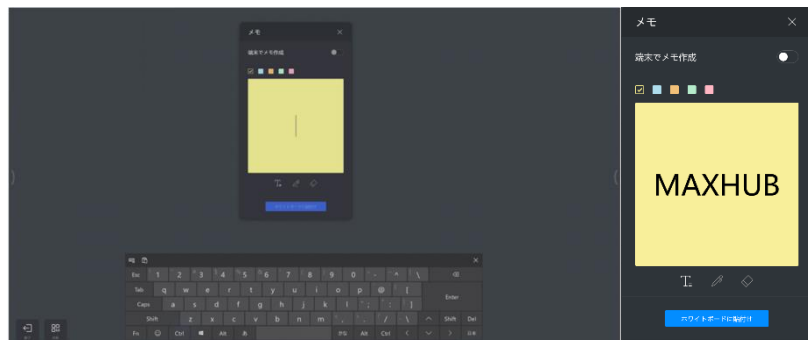


## 【メモの貼付け】

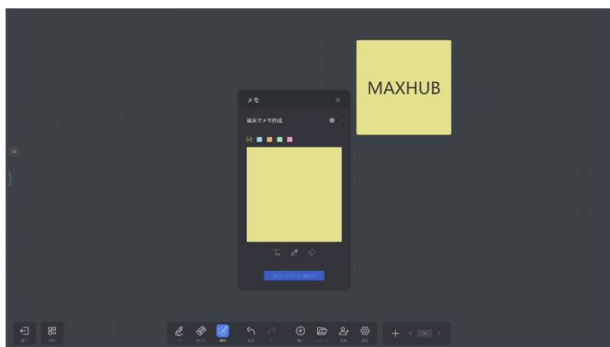
ホワイトボード上、またはスマホ等で QR コードを読み込み、メモの作成、貼付けをします。



<ホワイトボード上で作成→貼付け>



- テキスト入力(3)か、ペン(4)を選択します。
- キーボードで文字・テキストを入力するか、ペンで書きます。




- ・ [ホワイトボードに貼付け]を選択すると、ホワイトボードへ貼り付けできます。

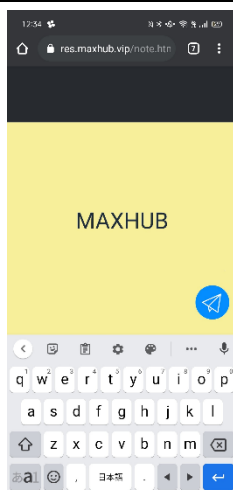


- ・ 貼り付けたメモを選択すると、移動、コピー、削除ができます。

<スマホ等で作成→転送>

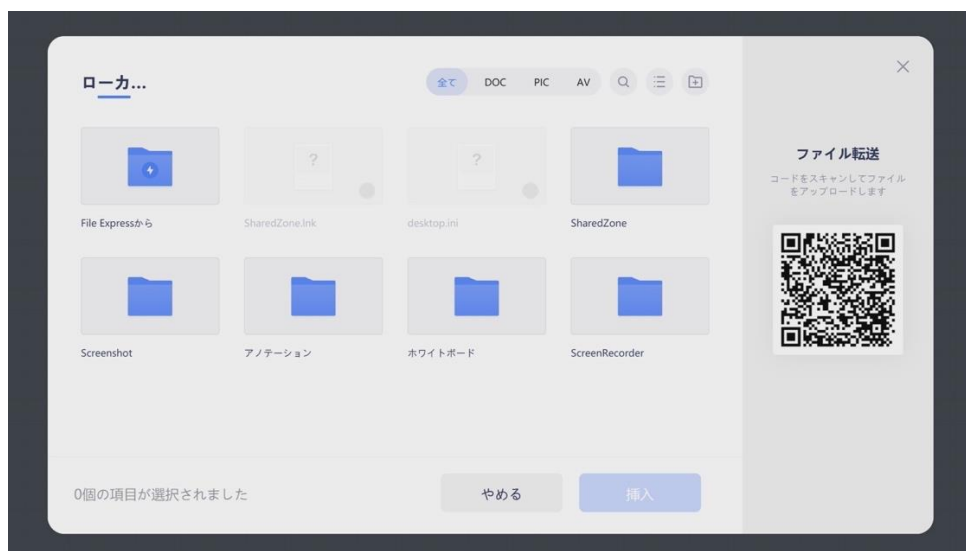


- ・ [端末でメモ作成]を ON にすると、QR コードを表示します。
- ・ スマホ等で QR コードを読み込むと、入力画面を表示します。
- ・ テキストを入力し、 を押すと、ホワイトボード上に転送されます。



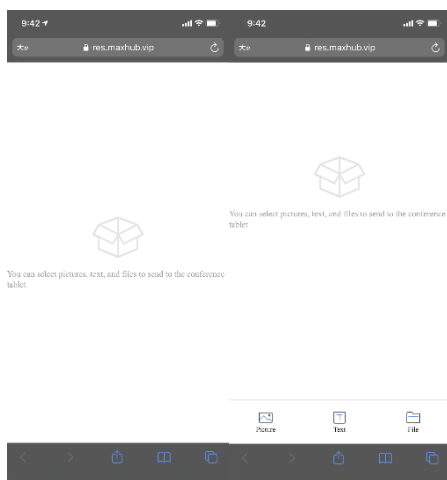
### ⑦ ファイル

スマートフォンなどからファイルの転送や MAXHUB 内にあるファイルを確認できます。



### <スマホ等で転送>

- スマホで QR コードをスキャンします。
- 画面を少し下に下げると、ファイル選択項目(Picture,Text,File)が表示されるので、送信したいファイルの種類を選択します。

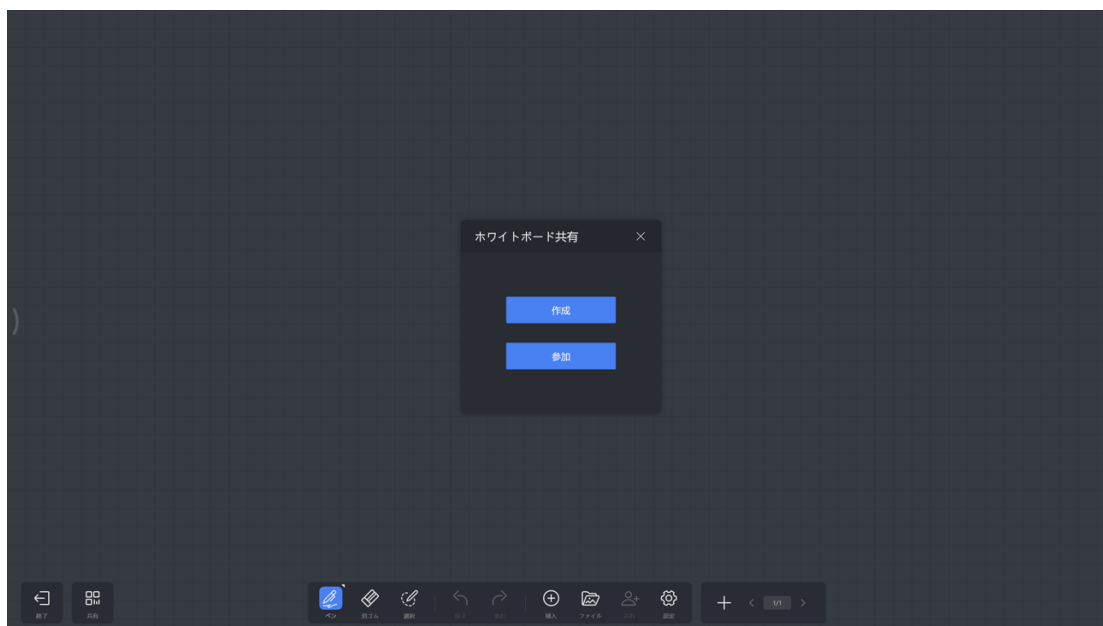


- 送信したいファイルを選択すると MAXHUB 本体へファイルが転送されます。



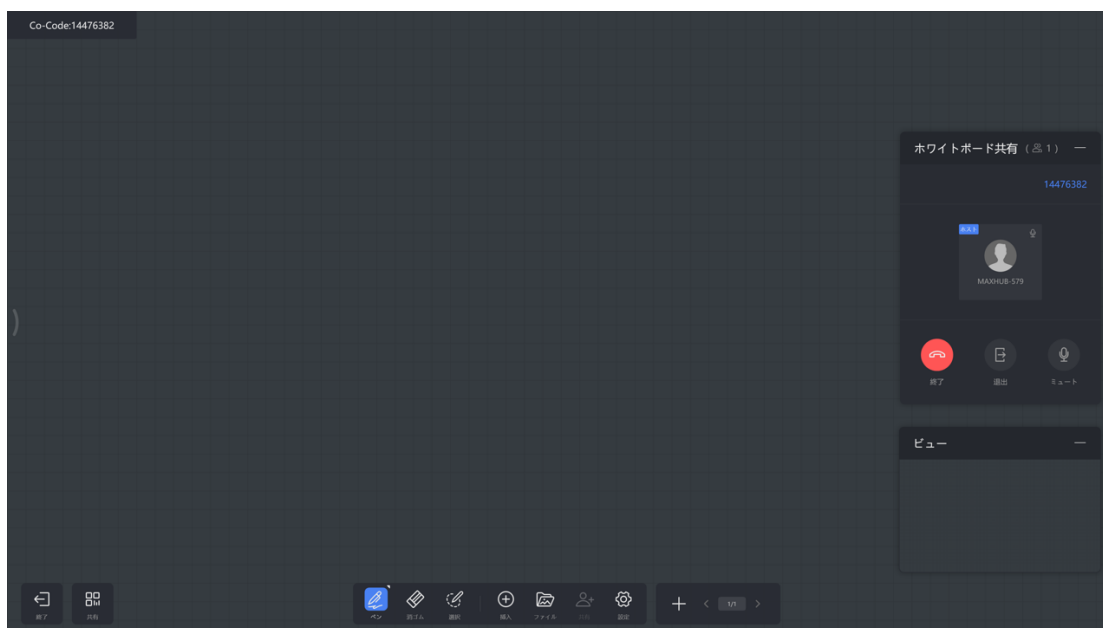
## ⑧ 共有

ホワイトボードの相互書き込みが可能です



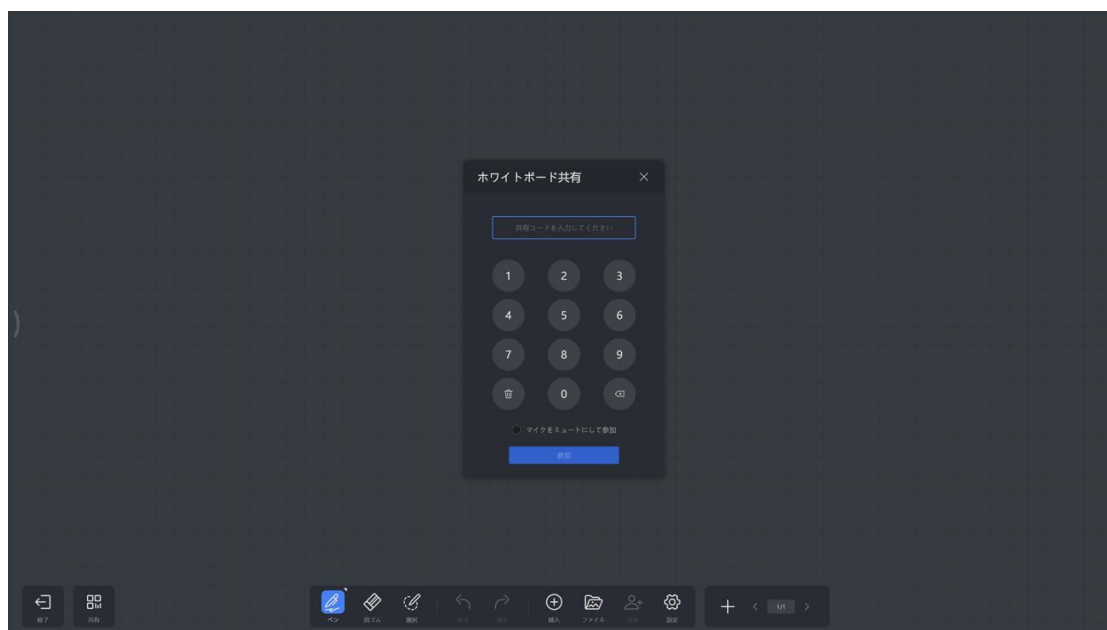
## 【作成】

ルームの作成ができます



## 【参加】

作成側に表示されているルームコードを入力して入室します



## ⑨ 設定

ペンの設定や背景の設定、QRコード共有の設定をすることができます。

## ● ペンの設定

- ・筆ペンモード … 有効にすると書いた文字が筆のように表示されます
- ・マルチライティング … 有効にすると複数人での書き込みができます(最大 20 人)
- ・2色モード … 有効にするとペンの両端の色・太さを設定できます

## ● 背景

ホワイトボードの背景・グリッドの変更、また任意の背景に変更できます

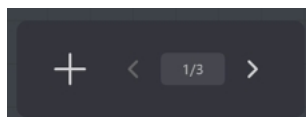
## ● お試し機能

- ・スマートモード … 有効にすると書いた図形が自動で補正されます
- ・テキスト認識 … 有効にすると書いた文字が自動で補正されます

## ● スキャンコード

- ・クラウドサーバー経由 … 有効にするとホワイトボードの内容をネットワーク経由で保存できます。遠隔地からでも保存が可能です。内容はjpg形式で保存されます。
- ・LAN 経由 … 有効にするとホワイトボードの内容を保存できる端末が、「同一ネットワーク内にある端末」もしくは「本機のホットスポットに接続している端末」に限定されます。内容は pdf 形式で保存されます

## ⑩ ページの追加／前／次／ページ一覧ボタン

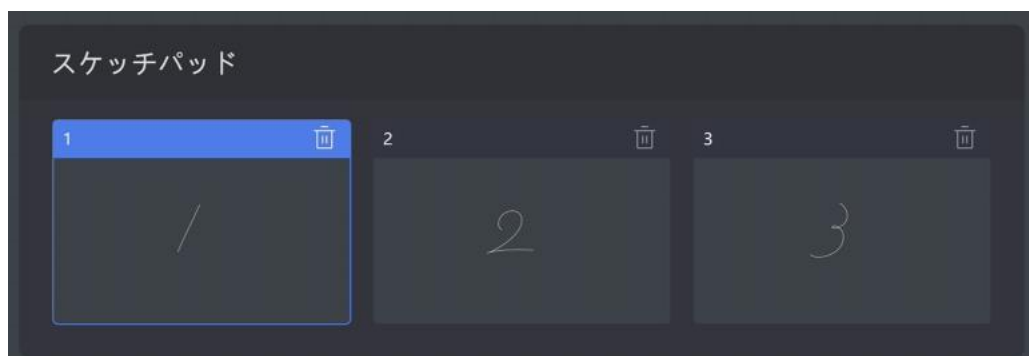


+ 追加…ページを追加

< 前…前のページを表示

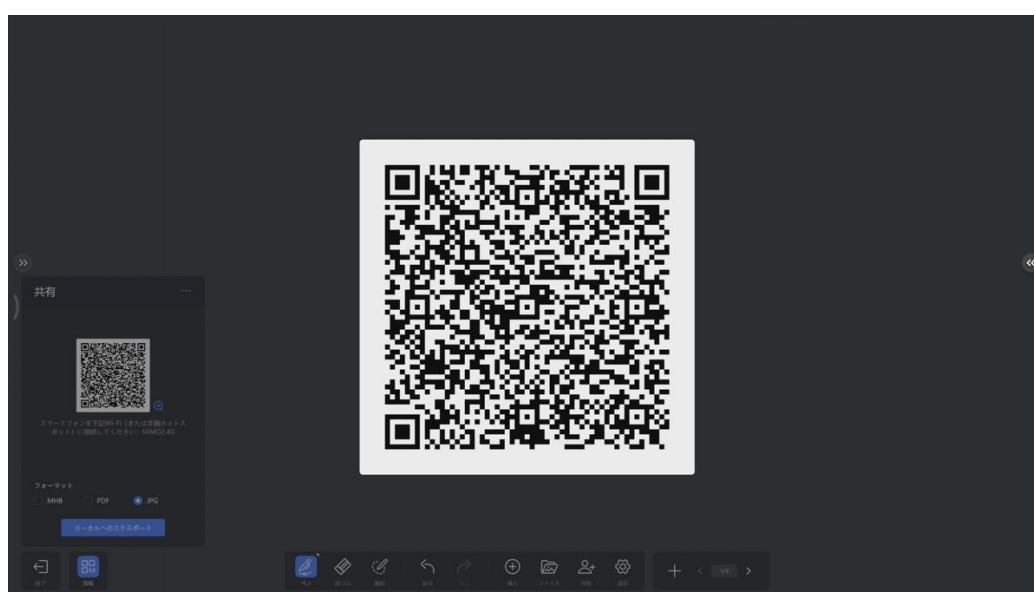
1/3 …ページの一覧を表示

> 次…次のページを表示



#### ⑩ 共有

QRコードを読み込むとPDF形式でデータの保存が出来ます。



1. 共有→QRコードをクリックすると画面に大きく表示されます。
2. スマホで上記 QRコードをスキャンします。  
画面に従って書いた内容を保存してください。



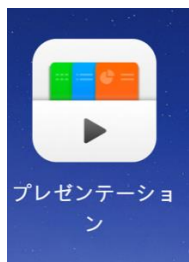


- 保存先の選択、データのメール送付、印刷をすることが出来ます。
- 保存形式:PDF、JPG、MHB(MAXHUB 専用ファイルで復元可能)

⑫ 終了

ホワイトボード機能を終了します

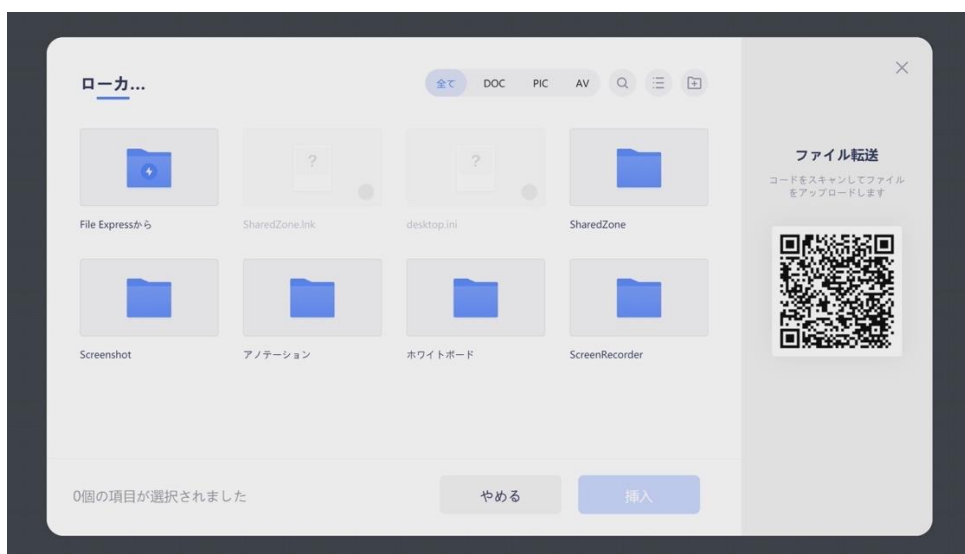
## プレゼンテーション



ファイルの観覧とファイルの転送ができます。

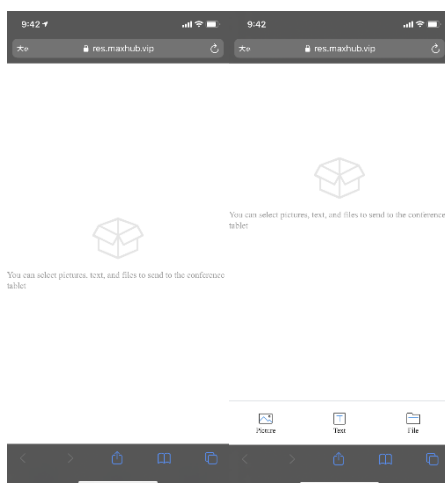
Windows に保存されているユーザのドキュメントファイルが参照されます。

スマートフォンなどからファイルの転送や MAXHUB 内にあるファイルを確認できます。



### <スマホ等で転送>

- スマホで QR コードをスキャンします。
- 画面を少し下に下げると、ファイル選択項目(Picture, Text, File)が表示されるので、送信したいファイルの種類を選択します。



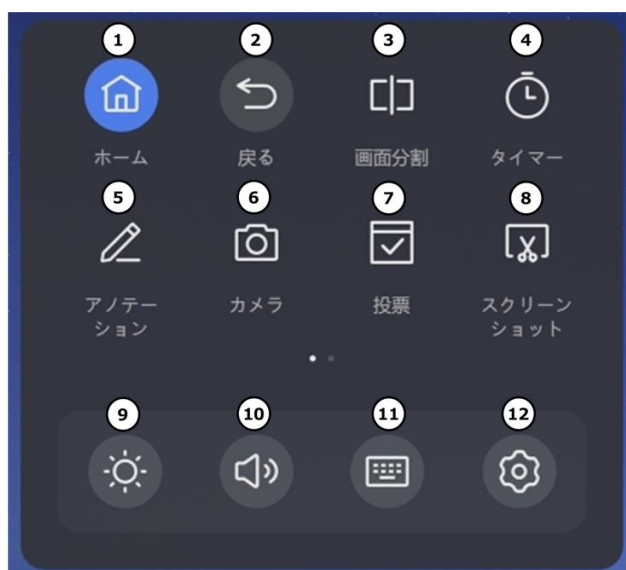
・転送されたファイルは「File Express から」に自動的に保存されます。

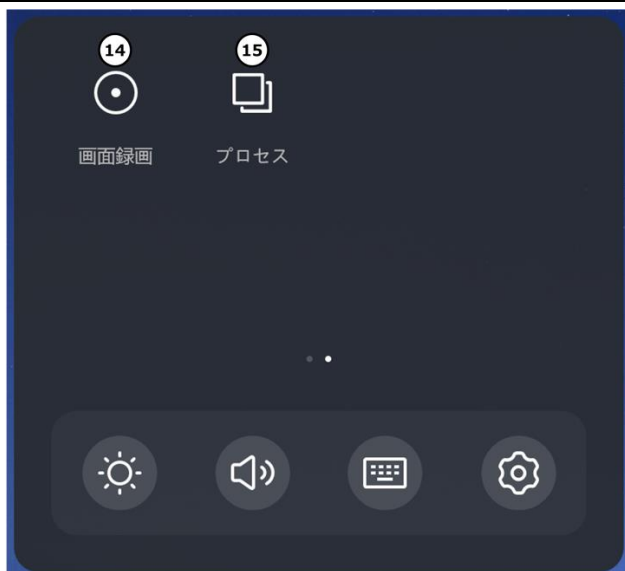
※フォルダーがない場合は自動で作成されます。



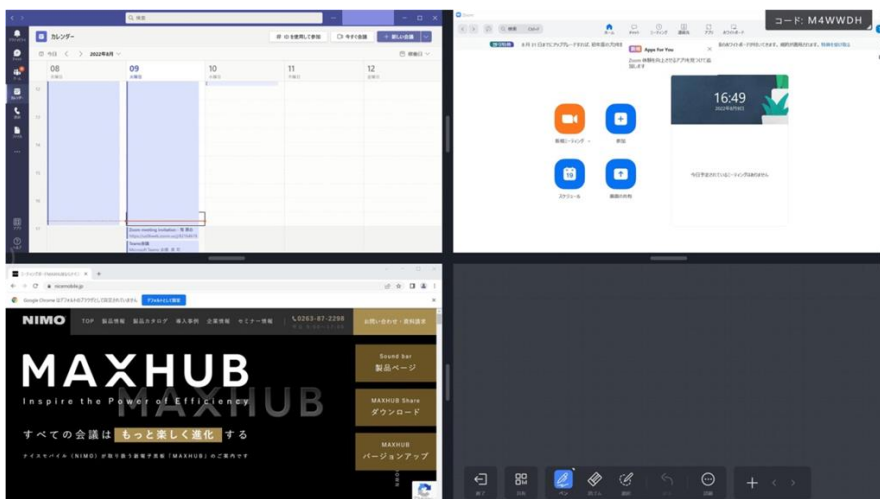
## サイドバー

下記の画面が表示されます。



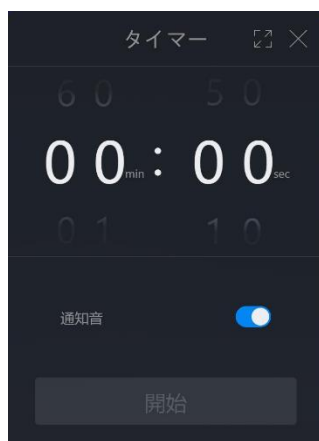


- ① ホーム…ホーム画面を表示します。
- ② 戻る…ひとつ前の操作に戻る
- ③ 画面分割…画面の分割が最大4画面まで可能です。



- ④ タイマー…タイマーを起動します

[計測開始]を選択すると、設定した時間でカウントダウンが始まります。



#### ・通知音

…ON にすると残り時間の3秒前からカウント音を鳴らすことができます。

【経過時間のカウント】

設定すると、タイムアウト後の時間も計測します。



- ⑤ アノテーション…開いている画面にペンで書き込みができます
- ⑥ カメラ…カメラを起動します
- ⑦ 投票…投票機能を起動します



投票項目として設定する数を設定します。

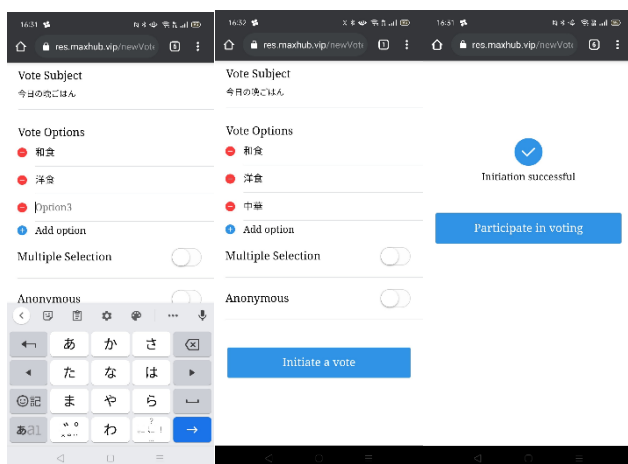
- ・匿名  
…名前を入力せず匿名で投票できます。
- ・複数選択  
…投票する項目を複数選択できます。

#### 【投票項目を設定】

[項目名を設定]を選択すると QR コードを表示します。



2. スマホで QR コードを読み込むと項目設定画面が開くので、各項目を入力し、[Initiate a vote]を選択します。



### 【投票する】

- 1.[QR コードを生成]を選択すると QR コードを表示します。
- 2.スマホで QR コードを読み込み、投票します。



### 【投票結果を表示する】

[投票結果を表示]を選択すると、結果を表示します。

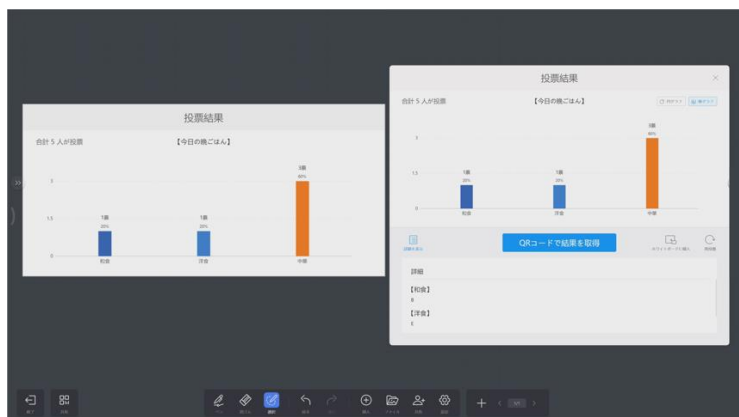
※結果の表示は円グラフと棒グラフを選択することができます。



## 【ホワイトボードに挿入する】

[ホワイトボードに挿入]を選択すると、結果のグラフを挿入できます。

挿入したグラフは、切り取り、移動、コピー、削除が可能です。



## 【投票結果を取得する】

- 1.[QRコードで結果を取得]を選択すると、QRコードを表示します。
- 2.スマホでQRコードを読み込むと、結果をスマホ画面に結果を表示します。



- ⑧ スクリーンショット…画面のキャプチャーを撮ることができます



- ⊗ … スクリーンショット機能を終了します。
- ⌂ … 選択範囲を全画面に拡大します。

- ⑧ … スクリーンショットを撮影→ホワイトボードへ挿入します。
- ⑨ … スクリーンショットを MAXHUB 本体へ保存します。
- ⑩ 明るさ…明るさを調節できます
- ⑪ 音量…音量を調節できます
- ⑫ キーボード…キーボードを表示することができます
- ⑬ 設定…設定画面を開きます
- ⑭ 画面録画…画面を録画できます
- ⑮ プロセス…バックグラウンドで開いているアプリケーションを表示

### <アノテーションモードについて>

本機使用中に画面へ書込みができます。



#### •ペンモード

ペンの色を選択して画面に書き込めます。



#### •消しゴムモード

書き込んだものを消すことができます。





•共有

書き込んだ画面を保存することができます。



•終了

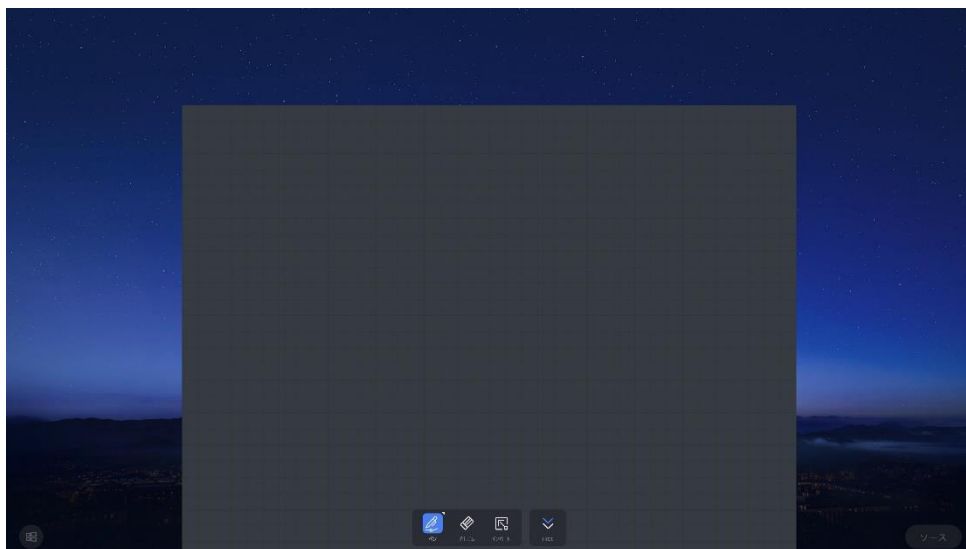
アノテーションモードを終了します。

## その他の機能

### 1. ミニ黒板機能

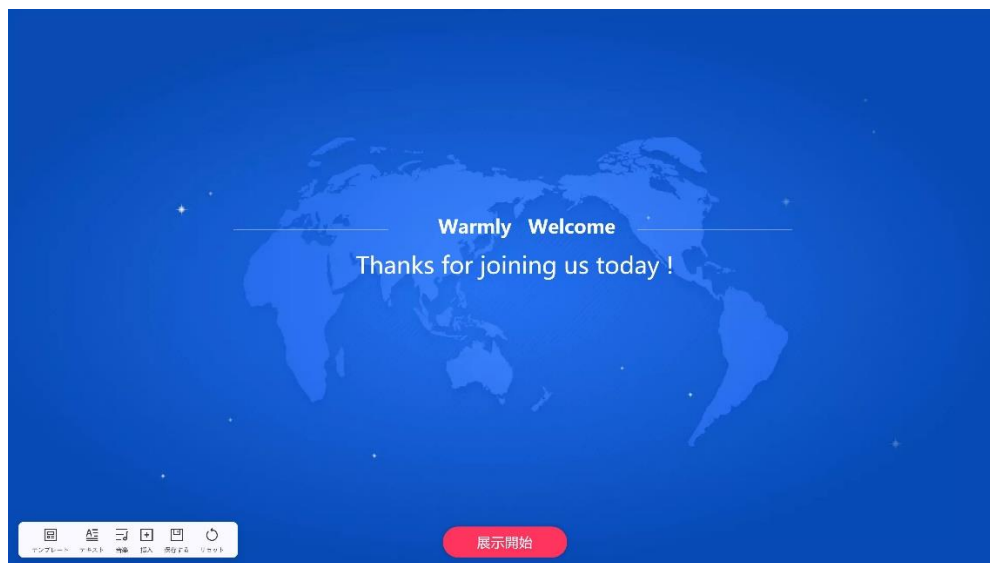
画面下面(ボトム)からフリックすることでミニ黒板を起動することが出来ます。

他の機能を使用中でもミニ黒板機能を起動することが出来ます。



### 2. ウェルカムボード機能

ホーム画面を左にスワイプすることでウェルカムボード機能を起動することが出来ます。




左下のメニューアイコンから編集することができます。

- ・テンプレート…テンプレートを変更します。
- ・テキスト…表示されるメッセージを変更します。
- ・音楽…BGMを設定できます。
- ・挿入…画像、テキスト、動画、ドキュメントを挿入できます。
- ・save…設定した内容をテンプレートに保存します。
- ・リセット…変更した設定内容を削除し元の画面に戻します。

## 設定について

### ネットワーク



- ネットワーク設定で、有線ネットワーク、無線ネットワークとホットスポットの設定ができます
- “” アイコンをクリックしてネットワークの on/off が可能です
- 周辺機器の設定からは Bluetooth 接続設定もできます

### 一般設定



- サウンドと明るさ…プログレスバーをスライドして音量と明るさ、コントラストの調節ができます。
- デバイス名…デバイス名の変更ができます。
- デバイスマネージャー…USB シールド、WOL サービス等の設定ができます。

- 機能管理…Windows 切替えボタンの表示/非表示、Web 会議で使用するアプリ設定やペン検出機能の on/off、ができます。



また、ファンクションスイッチでは、各機能の QR コード表示、非表示を決められます。

- スリープモード…スリープモードの on/off ができます。
- 電源自動オン/オフタイマー設定…指定した時間に自動的に電源オン/オフします。

## システム



- メールサービス (Office365, info@nicemobile.jp 例)

送信ボックス設定:

送信者: [info@nicemobile.jp](mailto:info@nicemobile.jp)

ユーザー名: [info@nicemobile.jp](mailto:info@nicemobile.jp)

パスワード: 必要に応じて入力してください

SMTP サーバー: smtp.office365.com

SMTP ポート: 587

受信ボックス設定:

メールボックスのサフィックス名制限

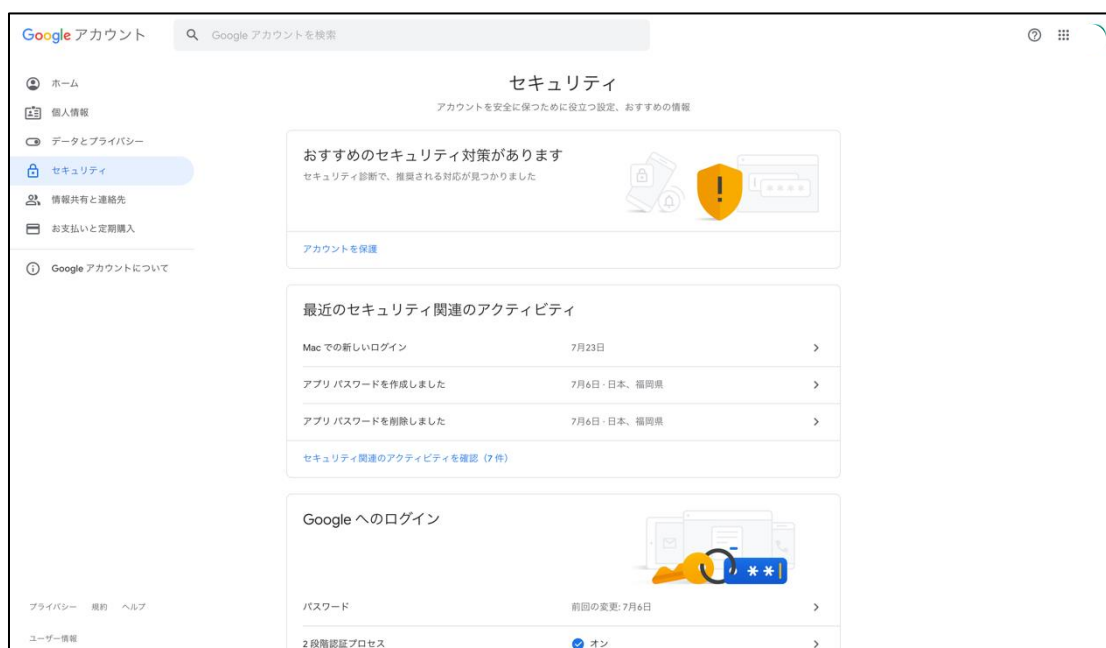
@nicemobile.jp

デフォルトの受信者

送信先アドレスを登録しておくことで、送信時のアドレス入力を省略することができます

※1.Gmail の SMTP 利用には下記設定が必要になります

①Google アカウントメニューからアカウントページにアクセス。セキュリティ項目から「2段階認証プロセス」をクリック



②「使ってみる」をクリック



## ③認証用の電話番号を入力し、送信

Google アカウント

← 2段階認証プロセス

最後にバックアップ方法を登録

スマートフォンを紛失した場合や2つ目の手順を利用できない場合に、このバックアップ方法を使用してアカウントを復元します。

▼ | \_\_\_\_\_

Googleはこの番号をアカウントのセキュリティ保護にのみ使用します。  
Google Voice 番号は使用しないでください。  
データ通信料がかかる場合があります。

コードの取得方法

テキスト メッセージ  音声通話

[別のバックアップオプションを使用](#) [送信](#)

プライバシー 規約 ヘルプ  
ユーザー情報

## ④入力した電話番号宛に届いたコードを入力

Google アカウント

← 2段階認証プロセス

利用できるかの確認

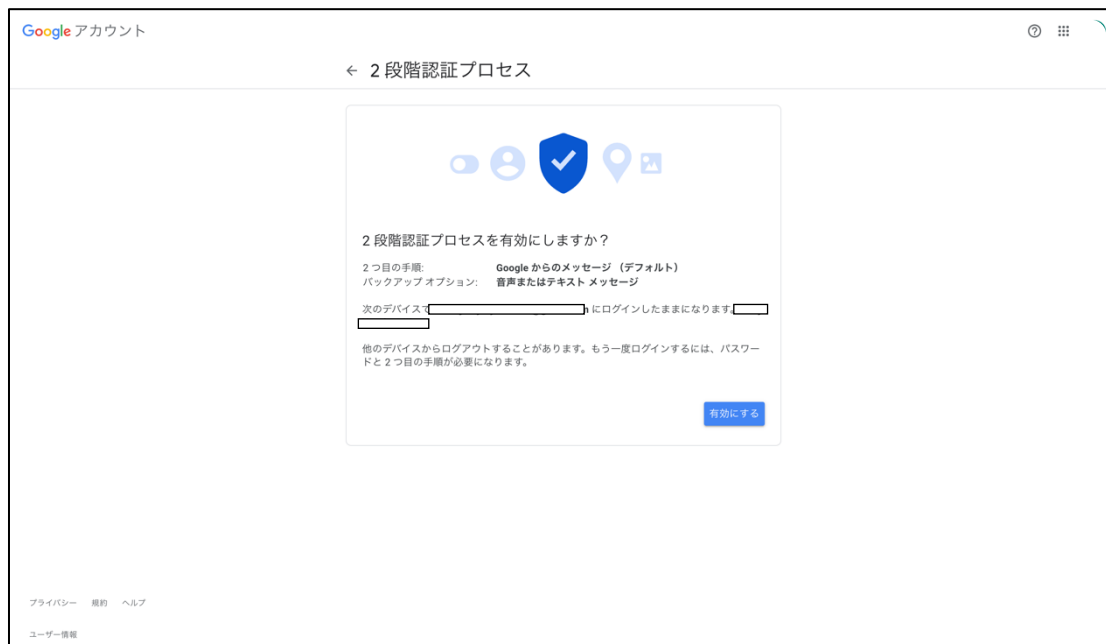
Google から \_\_\_\_\_ に確認コードのテキストメッセージが送信されました。  
コードの入力

受け取れなかった場合: [再送信](#)

[戻る](#) [次へ](#)

プライバシー 規約 ヘルプ  
ユーザー情報

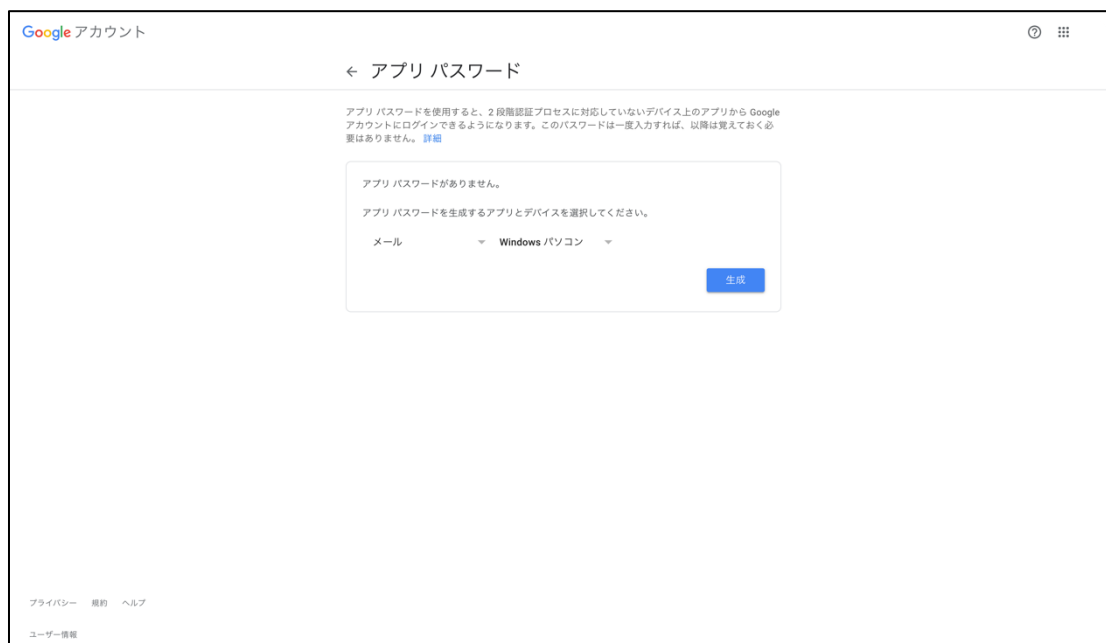
## ⑤「有効にする」をクリック



## ⑥セキュリティ項目から「アプリパスワード」をクリック



## ⑦「メール」「Windows パソコン」を選択し、「生成」をクリック



## ⑧生成されたパスワードを MAXHUB メールサービスの送信ボックスパスワード欄へ入力し設定完了、



※2.Office365 以外の設定方法は IT 管理者か販売店またはコールセンター (0263-87-0628) までお問い合わせください

- 言語の選択…使用言語の選択ができます。
- 日付と時間…本体の日付と時間の変更ができます。
- パスワード設定…管理者パスワードの設定ができます。
- すべての設定をリセット…[設定]画面で変更した設定をすべてリセットします。
- プリンタについて

プリンタのドライバーをインストールすると、本機付属「ホワイトボード」に書き込んだ内容はプリンタにて印刷できます。



## FAQ

### 1. スクリーンに霜が着く

LCD スクリーン保護のため、強化ガラスを使用しています。機種によって強化ガラスと LCD の間にエアギャップがあります。外気温との温度差により霜がつく場合がありますが、機能に影響はありません。

### 2. スクリーンが汚れる

清掃の際には、本機の電源コードを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。

### 3. 音が出ない

本機のボリュームを確認してください。または、接続している機器のボリュームを確認してください。

### 4. デュアルタッチペン以外で書けるのか

指、付属品以外のタッチペン(ペン先の太さは 2 mm 以上)でも書けます。最大 20 点までのマルチタッチに対応しています。

### 5. 長時間使用時に機器が熱くなる

業界標準に従って設計しています。異常発熱以外は問題ありません。健康にも影響はありません。

### 6. 長時間使用の場合目に悪影響はないのか

目の疲れはバックライトのちらつきが要因の一つと考えられます。周波数が 50 Hz 以下だと影響が大きいと言われていますが、この製品は 60 Hz と 120 Hz を使用しているため、目の疲労は低減されます。

※長時間のご使用は控えてください

### 7. プリンタへ出力したい

プリンタのドライバーをインストールすると、本機付属「ホワイトボード」に書き込んだ内容はプリンタにて印刷できます。通常ホワイトボードに書き込んだ内容は白黒印刷されます。ホワイトボードにイメージファイルが挿入されている場合はカラー印刷できます。

## 重量とサイズ

モデル	サイズ	NET 重量(kg)	GROSS 重量(kg)	本体サイズ L*H*D(mm)	梱包サイズ L*H*W(mm)
CF55FA	55 型	26.3	34.2	1262*776*88	1392*847*220
CF65FA	65 型	36.3	47.8	1488*903*88	1628*1005*208
CF75FA	75 型	48.3	62.8	1709*1026*87	1863*1140*225
CF86FA	86 型	65.55	87.6	1957*1166*100	2110*1283*225

## トラブルシューティング

自動的にシャットダウンする

- 1) スリープモードになっていないか確認してください。
- 2) 入力信号があるか確認してください。入力信号がなければ自動的に省エネモードに入ります。
- 3) 電源ケーブルを確認してください。

電源ランプが点灯しない

- 1) AC 電源正常か確認してください。
- 2) 電源スイッチがオンになっているか確認してください。

電源ランプが赤色のまま、起動しない

- 1) 電源スイッチを押しても電源が入らない場合、全てのケーブルを抜いて、15 分後再度電源を入れてみてください。

画面の色がおかしい

- 1) HDMI ケーブルがきちんと接続しているか、ケーブル自体に問題がないか確認してください。

画像は映るが音が出ない

- 1) 本機の音声を調整してください。または接続している機器の音声を確認してください。
- 2) 接続している機器とオーディオケーブルがきちんと接続しているか確認してください。

タッチの位置がずれている

- 1) タッチペンあるいは指がスクリーンに対して、90 度になっているか確認してください。
- 2) スクリーン上に異物がないか確認してください。

タッチが効かない

- 1) 外付け PC を使用している場合、タッチケーブルがきちんと接続しているか確認してください。
- 2) ベゼルの内側を柔らかい布で拭き取ってください。

ユーザーサポート・お問い合わせ窓口は  
保証書に記載のある番号までお問い合わせください。

受付時間

月～金 10:00～17:00(祝日・年末年始除く)